

理数物理 生徒アンケート

本校総合理学科の物理の授業は、普通科と異なる授業展開で専門学科生徒に対して教育効果を図ろうとするものです。これは本校のSSH 研究開発事業の一環として実施されたものでもあります。

特徴は次の3つです。

1. 少人数授業 (1, 2 年次)

1 クラスを 20 人ずつに分け、そのそれぞれを 1 人の教員が担当する。

2. 「理数物理」の履修

普通科の物理基礎 → 物理の展開と異なり、物理学の 5 つの分野 (力学、熱学・熱力学、波動、電磁気学、原子物理学) ごとに履修し、物理学の体系を重視した展開を行って各分野を深く学ぶ。

3. 探究活動を重視した実験・演習

以下の質問項目について 1 年間の授業を通して感じたことを答えて下さい。選択式は番号を○で囲んで、記述部分は枠の中にそのまま記入して下さい。

1. 少人数授業について

(1) 少人数授業はあなたにとってどうでしたか。

- ① 大変よかった ② よかった ③ どちらでもない ④ よくなかった ⑤ 大変よくなかった

2. 理数物理の履修について

(2) 物理学の体系を重視した授業展開はあなたにとってどうでしたか。

- ① 大変よかった ② よかった ③ どちらでもない ④ よくなかった ⑤ 大変よくなかった

(3) 授業の進度はあなたにとってどうでしたか。

- ① 大変よかった ② よかった ③ どちらでもない ④ よくなかった ⑤ 大変よくなかった

3. 本校 SSH 事業は次の表に示す 8 つの力の育成に主眼をおいています。

理数物理の授業をとおして伸ばすことができたと思う項目番号に○をつけてください。(複数可)

(例 1a) : 既習分野の基礎知識が多い)

● 問題を発見する力

1a : 既習分野の基礎知識が多い

1b : 事実と意見・考察を区別できる

1c : 自分がわからない点、知らない点を説明できる

● 未知の問題に挑戦する力

2a : 自らの課題に意欲的に努力することができる

2b : 問題点の関連から取り組む順序－戦略－を考えることができる

● 知識を統合して活用する力

3a : データに関連性を見だし構造化（箇条書き・分類・図式化等）ができる

3b : 分析や考察に適宜必要な機器やソフトウェアを使うことができる

● 問題を解決する力

4a : 論理の一貫性を意識したレポート・報告書を作成することができる

4b : 問題解決に関する方法論の知識が多い

● 交流する力

5a : 人と積極的にコミュニケーションをとることができる

5b : 協同学習・協同作業の場において責任と義務が自覚できる

● 発表する力

6a : 必要な情報を抽出・整理した発表資料を作ることができる

6b : 発表の効果を高める工夫ができる

● 質問する力

7a : 疑問に思う内容を、質問を前提にまとめることができる

7b : 自分から発言を求めることができる

● 議論する力

8a : あらかじめ論点に繋がりそうなことを準備できる

8b : 発表や質問に応答して議論を進めることができる

4. 上記3.の1a～8bの中で伸ばすことができたと感じたのは授業のどのような場面でしたか。（あれば記述）

項目 番号	伸ばすことができたと感じた場面

5. 自由記述です。授業への要望や感想など何でも結構です。あれば書いて下さい。